

Ⅲ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

先端融合テクノロジー連携教育プログラム

豊橋技術科学大学先端融合テクノロジー連携教育プログラムのディプロマ・ポリシーに基づき、必要とする授業科目（講義科目のほか、演習、実習、卒業研究及び実務訓練）を開設しています。本連携教育プログラムは、高等専門学校専攻科との協働により、工学部の他の教育課程よりも実務を重視した授業科目を中核とした2年間の教育により、技術開発および技術実装で求められる俯瞰的視野に基づく問題解決策の探求、柔軟性のある思考力と創造性を養います。このため、本プログラムは、次の3つの柱に基づきカリキュラムを編成しています。

1. テーラーメイド・チュートリアル・システム

- ・高等専門学校本科における教育を前提として、本連携教育プログラムが独自に開講する科目、本学工学部が開講する「一般基礎科目」、「専門科目」及びプログラム履修生が所属する「高等専門学校専攻科が開講する科目」から、プログラム履修生が自分で立てた学習・研究計画に沿って、研究遂行に必要な個別カリキュラムを作成して受講します。
- ・個別カリキュラムの作成では、自らの関心や問題意識、目指している技術者像の実現を念頭に置いて、視野の拡大とともに自分が進むべき方向性を探りながら学修を進めます。
- ・プログラムメンター教員による個別指導（テーラーメイド・チュートリアル・システム）を採用しています。

2. 現代社会を捉えるための徹底した基礎教育

- ・地球規模の持続的発展のため、単なる科学技術の知識の修得ではなく、科学技術の知識と、いわゆる従来の「教養」を有機的に結合した問題解決の構想力（「知恵」）を身につけます。
- ・「知恵」を学びながら表現力や説得力を身につけられるよう先端融合テクノロジーセミナーを設置しています。
- ・人文・社会科学、IT、生命・環境科学、技術者倫理及びMOT等の多様な分野を網羅する基礎的知識を身につけられる科目から、選択して個別カリキュラムを作成します。
- ・地方創生を担う技術系人材として必要な、社会制度、経営的知識を学ぶ科目を設置しています。
- ・社会が直面する課題意識を実務訓練やグローバルイノベーション特論によって学び、グローバル化する社会に対する観点や感性を修得します。

3. 幅広い技術分野に精通し、高い技術実装力を体得する実践的教育

- ・技術実装力を高めると共に、大学院生との協働を通じてリーダーシップやチームワーク力を涵養するためにプログラム在籍の2年間を一貫して行う卒業研究が設置されています。
- ・実社会での技術者・研究者の問題への取り組み方を体験させ、実務におけるプロフェッショナル感覚を養い、多様な文化・価値観の中での課題解決力を養成するため、企業や学外機関をパートナーとして学外履修を行う、二者間協同教育プログラムである実務訓練（海外を含む。）を設置しています。

4. 授業科目のシラバスにおいて、その科目の目標と達成目標、ディプロマ・ポリシーに示す知識・能力とその科目の学習・教育到達目標との対応を明示します。そして各科目の達成目標の達成度に基づく公正で厳格、かつ客観的な成績評価を行い、ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評価します。